

東北地方 1か月予報

(4月3日から5月2日までの天候見通し)

平成16年4月2日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の実現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。
天気は数日の周期で変化し、平年と同様に晴れの日が多いですが、期間の後半はおそ霜のおりる恐れがあります。

向こう1か月の平均気温は平年並、降水量は平年並、日照時間は平年並でしょう。

週別の気温は、1週目、2週目共平年並、3～4週目は平年並か低いでしょう。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



■ 低い ■ 平年並 ■ 高い

<予報の対象期間>

1か月 : 4月 3日(土)～ 5月 2日(日)

1週目 : 4月 3日(土)～ 4月 9日(金)

2週目 : 4月 10日(土)～ 4月 16日(金)

3～4週目 : 4月 17日(土)～ 4月 30日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は4月9日

3か月予報:4月22日(木) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	9.3	141.9	175.1	7.2	8.4	10.4
新庄	8.6	102.8	151.4	5.8	7.5	10.2
若松	10.3	66.3	175.0	7.5	9.2	11.8
深浦	8.6	98.2	172.6	6.6	7.9	9.7
青森	8.3	65.6	186.1	6.1	7.5	9.5
むつ	7.5	85.7	191.8	5.4	6.7	8.6
八戸	8.6	63.1	193.0	6.5	7.7	9.8
秋田	9.6	122.0	173.2	7.4	8.8	10.8
盛岡	8.8	99.0	174.6	6.3	7.8	10.1
宮古	9.0	98.5	188.6	7.0	8.1	10.1
酒田	10.2	111.0	172.1	8.0	9.4	11.4
山形	10.2	70.4	179.0	7.5	9.2	11.7
仙台	10.4	100.6	187.9	8.3	9.6	11.6
石巻	9.6	94.0	190.3	7.5	8.7	10.7
福島	11.7	81.5	187.1	9.1	10.6	13.1
白河	10.2	104.1	181.7	7.7	9.2	11.5
小名浜	11.4	130.0	184.1	9.5	10.6	12.5

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.3~+0.4	85~114	95~103
東北日本海側	-0.5~+0.5	88~111	94~106
東北太平洋側	-0.3~+0.4	80~114	96~104

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.5~+0.7	-0.7~+0.7	-0.4~+0.4
東北日本海側	-0.6~+0.8	-0.8~+0.6	-0.4~+0.5
東北太平洋側	-0.5~+0.8	-0.6~+0.9	-0.4~+0.5

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、それぞれの階級が実際に起こると予想される割合を表しています。信頼性の大きい予測資料が得られた場合には気候的出現率(階級の定義から各階級とも同じで33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、信頼性が小さい場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成16年4月2日 仙台管区気象台

1. 実現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(4月3日~5月2日) :

天気は数日の周期で変化し、平年と同様に晴れの日が多いですが、期間の後半はおそ霜のおりる恐れがあります。

平均気温は平年並でしょう。

1週目(4月3日~4月9日) :

明日(3日)から明後日(4日)にかけて気圧の谷や寒気の影響で雨や雪の降る所があるでしょう。その後は高気圧に覆われ、概ね晴れる見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

2週目(4月10日~4月16日) :

天気は数日の周期で変化するでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

3~4週目(4月17日~4月30日) :

天気は数日の周期で変化し、平年と同様に晴れの日が多いですが、おそ霜のおりる恐れがあります。

平均気温は平年並か低いでしょう。

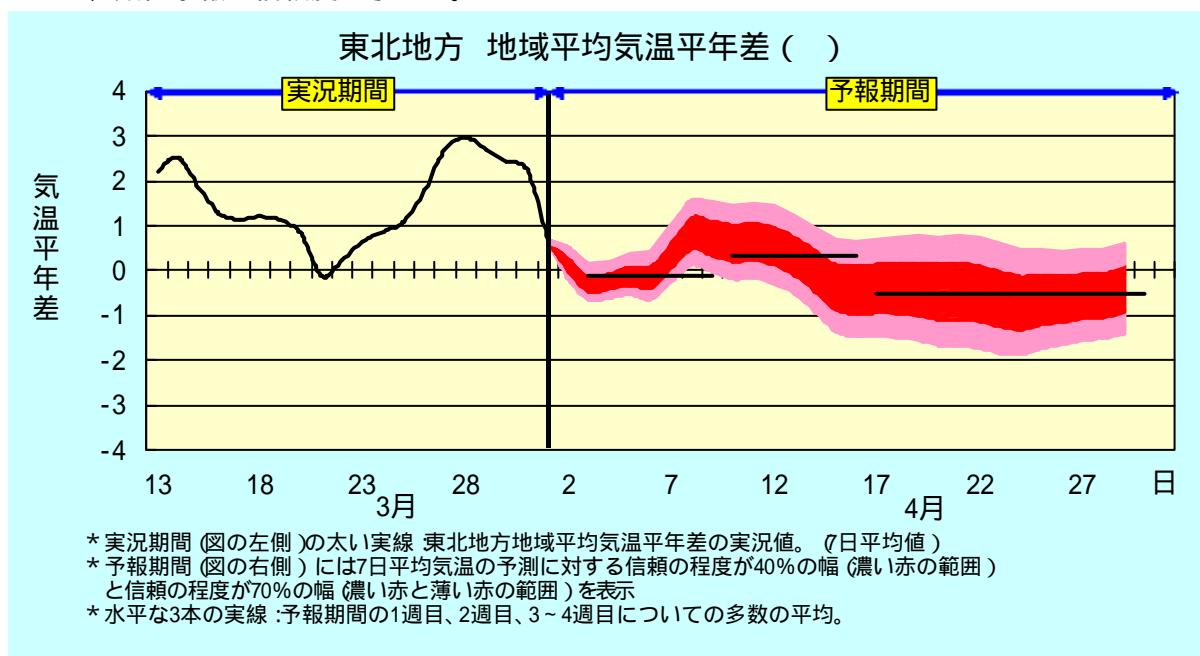
平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	15.7日	3.9日	3.7日	8.1日
東北太平洋側	17.0日	4.4日	4.0日	8.6日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目、2週目共「平年並」、3~4週目は「低い」と予測している。予報は、その他の資料から3~4週目を「平年並か低い」に変更する。

なお、数値予報の信頼度は小さい。

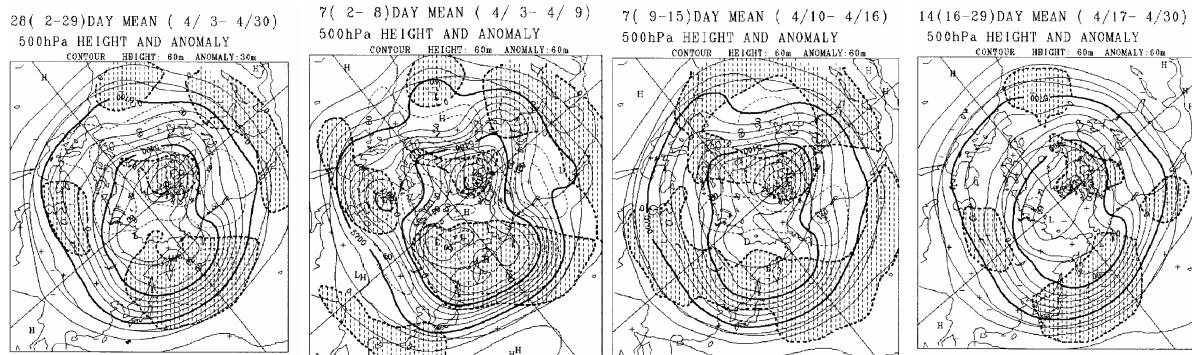


3. 数値予報(アンサンブル平均天気図)による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差:

月平均では、タイミル半島から極付近と北米西岸が正偏差で、グリーンランド付近と東シベリアから北日本を通って日本の東にかけて広く負偏差となり、北日本に寒気が南下し易い場となる。偏西風の流れは順調で、天気は数日の周期で変化する。

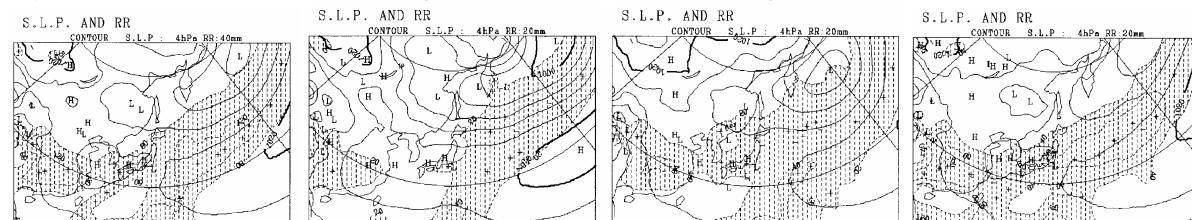
週別に見ると、1週目は北海道以北や九州以南が負偏差に覆われるが、本州付近は正偏差。2週目も北海道以北は負偏差だが、本州以南は正偏差となる。3~4週目は、日本付近が広く負偏差に覆われる。



地上気圧と降水量:

月平均では、高気圧が日本の南東海上に張り出し、本州から黄海も高気圧に覆われるが、本州南岸は低圧部。日本付近は等圧線の間隔広く、天気は数日の周期で変化する。降水量は日本付近にかかるが、まとまったものではない。

週別に見ると、1週目は本州付近が東西に広く高気圧に覆われる。2週目は本州付近に等圧線なく、天気は数日の周期で変化する。3~4週目は月平均と同様。

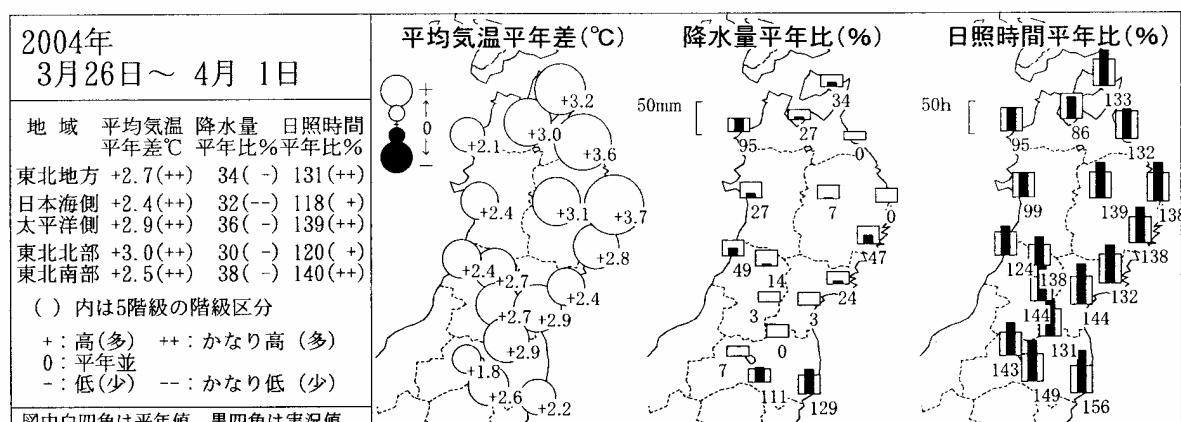


4. 最近1週間(3月26日~4月1日)の天候の経過

26日は冬型の気圧配置となって東北日本海側で曇りや雨となり、30~31日は日本海北部と本州南岸沿いを発達しながら通過した低気圧の影響で東北地方は雨となった。しかし、その他の日は高気圧に覆われ晴れの日が多く、また暖かい南風が吹き込み、気温はかなり高くなる日もあった。

なお、4月1日に小名浜でさくらが開花した。

平均気温はかなり高い。降水量は東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で少ない。日照時間は東北日本海側で多く、東北太平洋側でかなり多い。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)